

お母さん牛とも、農家のお父さんやお母さんとも別れて、心細く長い旅でした。着いたところは飯南町深野。但馬より暖かく、山に囲まれ、棚田が広がっています。

深野のお父さんとお母さんが、わたしを買ってくれたのです。「但馬の農家さんたちのためにも、この子をりっぱな松阪牛にせんといかんなあ。」と、深野のお父さんがわたしの体をなでながら話しています。わたしは、ここで「松阪牛」とよばれる牛になるのです。

(打田美月・平井真由美・池村 梓)

